

事 務 連 絡

令和 5 年 1 1 月 7 日

各都道府県・指定都市教育委員会学校安全主管課

各 都 道 府 県 私 立 学 校 主 管 課 御中

附 属 学 校 を 置 く 各 国 立 大 学 法 人 担 当 課

文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課

学校事故の詳細調査報告書の共有について

(牛舎内生徒負傷事故、木材加工実習中生徒負傷事故)

下記のとおり、「学校事故対応に関する指針」に基づき、学校事故の詳細調査報告書が取りまとめられたので、概要とともに共有します。(2件あります)

詳細調査は、事故の再発防止に繋げることを等として実施しているものであることを踏まえ、各学校における今後の安全管理や安全教育に活かしていただくよう、よろしくお取り計らい願います。

記

【1件目】

事件・事故	農業高校における牛舎内生徒負傷事故
発生日時	令和3年12月27日
被害状況	高校2年生(男子)1名、頭部負傷(意識不明)
事件・事故の概要	<ul style="list-style-type: none">・ 飼養管理実習中に、生徒が肉牛舎内の牛房で1人で清掃作業をしていたところ、頭を低くした体勢の牛が、当該生徒の至近距離にいる状況となっていることを実習助手が発見した。・ 実習助手は、牛が威嚇状態であると判断し、牛と生徒の間に分け入り、自身が手にしていたフォーク(農具)で牛を叩いて追い払った。・ その後、実習助手が振り向くと、生徒は頭部を負傷、意識のない状態となっていた。・ 当該生徒は直ちに救急搬送されるも、現時点で意識が回復していない。
再発防止に向けた指摘	<ul style="list-style-type: none">・ 牛の飼養管理実習上の安全対策について、動物福祉に配慮しつつ適切な対応が必要であること。・ 実習に係るマニュアル整備が必要であること。・ 学校における危機管理体制の構築が必要であること。・ 生徒への安全教育の充実が必要であること。・ 事故事例の収集、リスク情報を活用した事故の未然防止が必要であること。・ 学校設置者は危機管理能力を備えた管理職を養成することや、学校と連携して安全対策を推進することが必要であること。
詳細調査報告書	https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-sports/files/sannojikochosa_saishuhokokusho.pdf
参考資料	別添(実験・実習における安全管理及び安全指導の徹底について(令和4年5月17日事務連絡))のとおり

【2 件目】

事件・事故	工科高校における木材加工実習中生徒負傷事故
発生日時	令和 4 年 5 月 6 日
被害状況	高校 2 年生（男子）1 名、腹部負傷（その後死亡）
事件・事故の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木材加工の実習において、ノミのかつら直し作業を行っていたところ、ノミの刃先が当該生徒の腹部に刺さった。 ・ ただちに救急搬送され、一命をとりとめたものの、予断を許さない状況が続き、後日亡くなった。
再発防止に向けた指摘	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習全般について、どのような場合に事故が起こり得るのか、予め教職員間で検討・共有すべきであること。 ・ 事故発生についての教職員間での検討を踏まえ、授業における時間配分も含め、生徒への適切な指導が必要であること。 ・ 事故発生後の速やかかつ正確な情報伝達等について、関係者への周知徹底が必要であること。
詳細調査報告書	https://www.pref.aichi.jp/press-release/kentoiinkai-gaidorain.html
参考資料	別添（実験・実習における安全管理及び安全指導の徹底について（令和 4 年 5 月 17 日事務連絡））のとおり

【参考】

- 学校事故対応に関する指針（平成 28 年 3 月）（文部科学省）
https://anzenkyouiku.mext.go.jp/mextshiryou/data/jikotaiou_all.pdf

【本件連絡先】

文部科学省総合教育政策局

男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育推進室 学校安全係

電話：03-6734-2966

事 務 連 絡
令和 4 年 5 月 17 日

各都道府県教育委員会指導事務主管課
各指定都市教育委員会指導事務主管課
各都道府県私立学校主管課
附属学校を置く各国公立大学法人附属学校事務主管課
各文部科学大臣所轄学校法人担当課
構造改革特別区域法第 12 条第 1 項の認定を
受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課

御中

文部科学省初等中等教育局
参事官（高等学校担当）付
産業教育振興室

実験・実習における安全管理及び安全指導の徹底について

報道されているとおり、愛知県立の工科高等学校において、令和 4 年 5 月 6 日に実施された実習中に工具で大けがを負った生徒が 5 月 12 日に死亡するという痛ましい事故が発生しました。

職業教育を主とする学科又は総合学科を置く高等学校及び中等教育学校の後期課程等（以下、「専門高校等」という。）において実験・実習を行うに当たっては、日頃より安全管理及び事故防止に努めていただいているところですが、今一度、下記の事項を確認し、改めて専門高校等における安全管理及び生徒への安全指導を徹底されるようお願いします。

については、各都道府県教育委員会高等学校所管課においては、所管の高等学校及び域内の高等学校を設置する市（指定都市を除く。）町村教育委員会に対し、各指定都市教育委員会においては、所管の高等学校に対し、各都道府県私立学校主管課においては、所轄の学校法人等を通じて、その設置する高等学校に対して、各国立大学法人附属学校事務主管課においては、その設置する附属の高等学校に対して、構造改革特別区域法（平成 14 年法律第 189 号）第 12 条第 1 項の認定を受けた地方公共団体の学校設置会社担当課においては所轄の学校設置会社及び高等学校に対して、このことについて周知くださるようお願いいたします。

記

1. 実験・実習を行うに当たっては、実験・実習の安全確保を図るため、関連する法規等に従い、施設、実験・実習装置や照明などの日常の点検、施設・設備の安全管理及び学習環境の整備を行うこと
2. 機械や装置類の操作、毒物及び劇物などの各種薬品や薬剤、可燃物の使用に際しては、関連する法規に基づき適正に管理・運用するとともに、事故の防止に努め、

生徒に対する安全と衛生の指導を徹底すること

3. 実験・実習における生徒への安全教育及び安全指導の時間を十分に確保し、学校全体で安全教育を推進し、安全意識の高揚を図ること
4. 学校における危機管理マニュアル等を改めて確認し、事故発生時の対応等について学校全体で共有すること

【本件担当】

文部科学省初等中等教育局参事官（高等学校担当）付
産業教育振興室産業教育係

〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2

電話：03-6734-2904（直通）

E-mail：sangyo@mext.go.jp